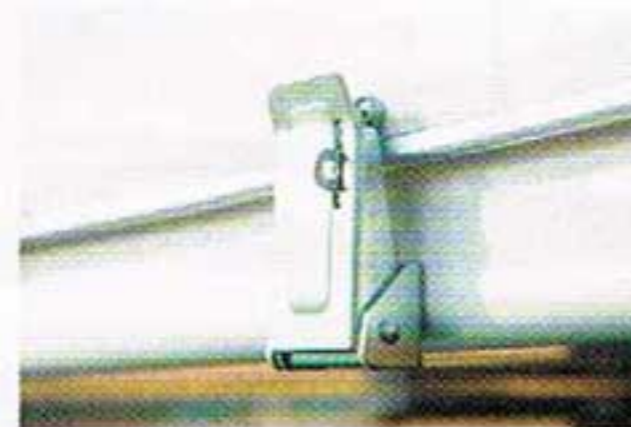
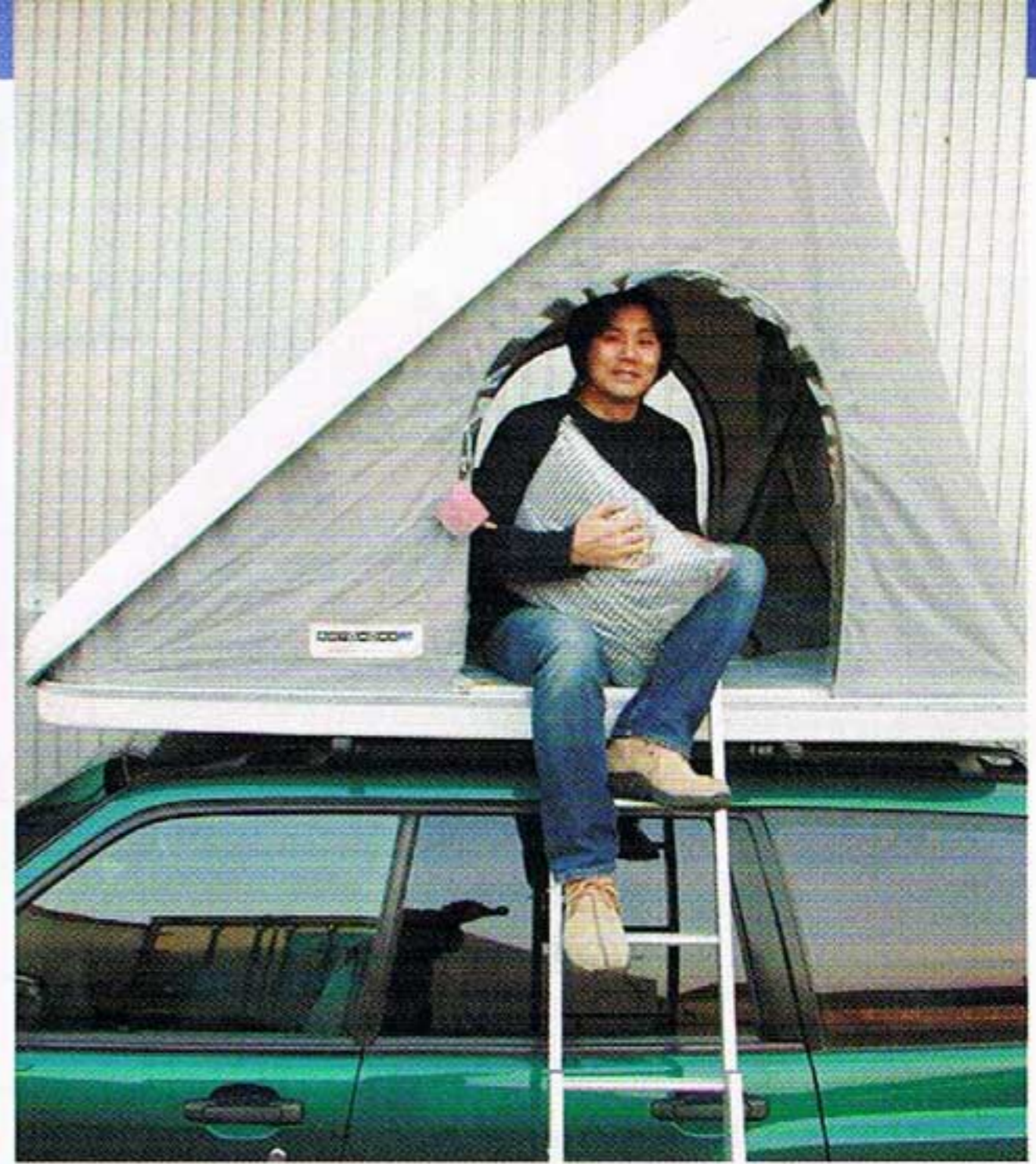




ROOF TENT CAMPING

ルーフテントキャンピング!!



●ルーフのロック部分がココ。いたずら防止と、万が一走行中に開かないようにカギを付ける予定だ。展開時はロックを外し、手で少し押しあげると自動でルーフが上がる

●本来、ルーフテントへはハシゴをかけて左右と後ろから出入りできるが、フォレスターはリヤドアを開けるため本体を前寄りにつけているので、後ろから出入りできない



●ルーフが上がっているところではなくて、下げているところ。グリップ付きの黄色いロープを引くことでルーフが下がる。あとは挟み込まないように生地を中に入れて収納するだけ

●ハシゴを折り畳んだ状態では117cmでフォレスターのリヤに横置きでギリギリ入るサイズ。ロック解除で206cmまで伸びる。車高160cm以上の場合、RV車専用ハシゴを用意



●テント内部は想像しているより広がった。ボクが購入したミディアムサイズは、幅が145cmあるので、キャンピングカーの構造要件的にいえば、大人2名+子供1名の就寝定員となる



●ベース車に機動力があれば、どこへでも行けるのがルーフテントの魅力だ

ルーフテントの取り付けが
 終わり、次回からは実際
 にキャンピングに使って、そ
 の使い勝手についてレポートして
 いきたいと思う。ハシゴの上り下
 りは大変なのか？（特に飲酒時と
 かね） テント生地は雨や風をど
 れくらい防ぐのか？ 寝心地はど
 うか？ テントの中に入るとやは
 り揺れるのか？ などなど気になる
 ことはたくさんある。居住性や収
 納力もチェックしたい。

キャンブ道具も新たに購入した
 ので、今回はルーフテントのある
 キャンプ風景も見せられるはず。
 また、これから不定期で連載し
 ていくなかで、ルーフテントのア
 クセサリ紹介、サブバッテリー
 システムを組んだり、車内から乗
 り降りできる!? 改造も企画中だ。
 そうそう、ルーフテントを取り
 付けての帰り道、高速道路でさっ
 そく騒音テストをしてみた。

100 km/h、計測場所は運転
 席と助手席の間の耳の高さ。ルー
 フテント未装着では62dBだった騒
 音が、装着時の計測では67・4dB
 になった。

数値上は5dB上がったが、感覚
 的にはそんなに変わらない。強い
 ていえば風切り音が若干聞こえる
 かなという感じだ。

ちなみに騒音の目安として60dB
 が普通に会話ができるレベルで、
 70dBが会話に少し大きい声が必要
 なレベルだという。